

データから見えるしおがま

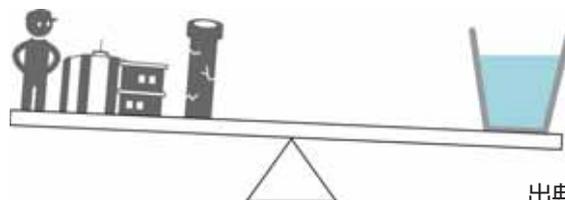
Vol.5

人口減少で水の使用量が減ると、これからの水道はどうなる？

水道管や浄水場など
施設の更新にかかる費用

9億5千万円
(令和元年)

現在の収支のバランス



水道料金による収入

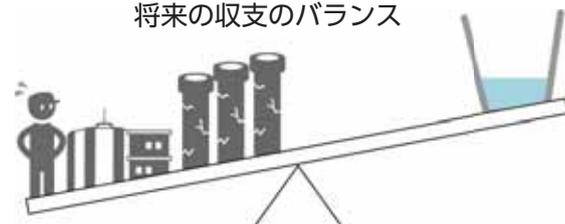
13億6千万円

(令和元年)

出典：塩竈市水道事業経営戦略

老朽化に伴い、水道管や
浄水場など施設の更新に
かかる費用が増加する
ことが見込まれます。

将来の収支のバランス



人口の減少や、節水機
器の普及で、皆さんが
使う水の量が減り、水
道料金の収入も減るこ
とが見込まれます。

収支のバランスを保つため、皆さんに、安全でおいしい水道水を使っただけのよう活動を続けるほか、すでに行っている民間委託など、経営の健全化をより進めていきます。



シオンちゃん

☎ 水道部業務課 ☎ 364-1415

しおがまの昔・懐かし
思い出写真館 ⑱



1997年撮影 塩釜港旅客待合所(港町一丁目)

☎ 政策課市政情報係 ☎ 355-5728

塩竈の文化財

再発見

せつのかみこひぐん
摂津守古碑群

青葉ヶ丘北公園付近 江戸時代

青葉ヶ丘団地の北側、伊保石沢川を見下ろす段丘上に、古い石碑がまとまって残っています。これらは吉津に居を構えた春日家(小野家)の墓碑群で、元禄、延享など江戸時代の年号が刻まれたものが多く、大小28基確認できます。昭和52年(1977)からの青葉ヶ丘団地造成の際、南側の丘陵上から現在地に移設されました。



春日家は鹽竈神社右宮の一祢宜を代々務め、摂津守を名乗った24代の恒篤が正徳4年(1714)に従五位に除せられるなど、名家として知られました。この古碑群と吉津の屋敷跡は遺跡に指定され、保護されています。

☎ 生涯学習課学習支援係 ☎ 362-2556

障がいに関わるマークを知ろう⑥



耳マーク

聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。このマークを提示された場合は、相手が「聞こえない・聞こえにくい」ことを理解し、コミュニケーションの方法などへの配慮に協力をお願いします。

※耳マークは緑色です

☎ 生活福祉課障がい者支援係 ☎ 364-1131